

目 次

和歌山大学入学者選抜日程

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針).....	1
I 入学定員および募集人員.....	5
II 出願資格.....	7
III 入学試験の実施方法.....	7
IV 出願要件.....	7
V 他の国公立大学・学部および本学学部間の併願.....	8
VI 個別の入学資格審査の申請方法等.....	8
VII 入学者選抜方法.....	10
1. 入学者選抜方法等.....	10
(1)平成28年度 和歌山大学入学者選抜方法等 (一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試).....	10
(2)平成28年度 和歌山大学入学者選抜方法等(特別入試).....	14
2. 入学者選抜実施教科・科目等について.....	15
3. 平成28年度大学入学者選抜(大学入試センター試験)における旧教育課程履修者に 対する経過措置.....	20
4. 実技検査.....	21
5. 個別学力検査等実施教科・科目の試験時間.....	23
6. 特別入試.....	24
・推薦入試〔教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部〕.....	24
・帰国子女特別入試〔経済学部〕.....	33
・社会人特別入試〔経済学部、観光学部〕.....	34
・AO入試〔観光学部〕.....	36
・私費外国人留学生特別入試〔教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部〕.....	37
VIII 障害を有する入学志願者の事前相談について.....	41
1. 相談方法.....	41
2. 相談および問い合わせ先.....	41
IX 入試情報の開示.....	41
1. 入試情報の開示.....	41
2. テレホンサービス(一般入試のみ).....	41
X 学生募集要項等の発表および請求方法.....	42
1. 学生募集要項等の発表時期.....	42
2. 学生募集要項等の請求方法.....	42
3. 入試に関する問い合わせ先.....	44
XI オープンキャンパスの案内.....	45
XII 学部の紹介.....	46
◎教育学部.....	46
◎経済学部.....	47
◎システム工学部.....	48
◎観光学部.....	51

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 大学の教育目的

和歌山大学は、未来を自らの力で切り拓く社会人として、豊かな人間性とともにも公共性を有し、環境にやさしい高度な専門的知識・技術を修得し、地域にあっても国際化を推進できる資質を持ち、そして、社会のニーズに的確に対応できる人材の育成を目的としています。

2. 大学のアドミッション・ポリシー

- (1)学問への探究心にあふれ、課題解決のため意欲的に取り組むことのできる人
- (2)明確な目的意識をもつ人
- (3)新しいことに積極的に挑戦する意欲をもつ人

教育学部

1. 学部の教育目的

本学部は、人間と教育に関する深い理解と、科学・芸術・文化に関する専門的知識にもとづき、教育実践力を高めることで、次代を担う子どもたちの成長と発達を支援していくことのできる高度な資質・能力をもった教員の養成を目的とします。

この目的の実現をはかるために、初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コースの3つのコースをおきます。こうすることでキャリアパスを明確にし、自分のめざすべき進路に応じた専門教育を受けることができるようにしています。

初等教育コースでは、児童の発達や教科のつながりなどを総合的に捉え、小中連携の視野を持った小学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、教育に関するさまざまな科学・研究分野を学びます。さらに、学校教育の基本的課題のみならず今日の学校内外で多発する複雑で深刻な教育問題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

中等教育コースでは、教科（分野）の専門性を深めつつ、中学校・高等学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、学校における各教科に関する幅広く深い知識と専門的技量を修得します。さらに、文化の継承・発展という教育の基本的課題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

特別支援教育コースでは、学習に困難のある子どもや、発達が気になる子ども、障害のある子どもなど、特別なニーズを有する子どもの教育について、専門的知識や理論を身につけながら実践的な指導能力を養い、両者のバランスに優れた教員の養成を目的とします。最新の理論の修得に加えて、在学中から実際に子どもと接する機会を多く持ち、体験を通して学ぶことを重視します。

2. アドミッション・ポリシー

上記のような教育目的を達成するために、次のような意欲と資質をもった人を求めています。

全体に共通するものとして

- (1)教員になりたいという熱意を持ち、子どもと共に学んでいく姿勢を持てる人
- (2)子どもの様々な特性を理解し、周囲の人々と協力して支援していくことができる人

初等教育コース

- (1)児童の発達や教科のつながりを広く学んで、小学校の教員をめざす人
- (2)幼児教育と連携しつつ、小学校教育を考えたい人
- (3)小学校教育と中学校教育の連携・接続を意識しつつ、小学校教育を考えたい人

中等教育コース

- (1)教科の専門性を深め、中学校・高等学校の教員をめざす人
- (2)中等教育段階の生徒の発達と学習を意識しつつ、中学校・高等学校教育を考えたい人

特別支援教育コース

- (1)特別支援学校教員をめざす人
- (2)幼稚園・小学校・中学校・高等学校において教育上特別なニーズを有する幼児・児童・生徒に対しても適切な支援を行える教員をめざす人
- (3)教育学、心理学、臨床学、医学、福祉学など、関連諸科学を横断し幅広い知識・技能を修得したい人

経済学部

1. 教育目的

本学部は、経済学・経営学・会計学・情報学・法学など、多様化・複雑化する経済社会の問題発見・解決に不可欠な社会科学の諸分野の教員を揃え、次のような人材の育成を目的とします。

- (1)基礎学力（幅広い教養と論理的思考力）と広い視野（社会科学の諸分野の専門知識と実務能力）を礎として、多様で変化の激しい予測困難な社会を体系的に理解できる人材
 - (2)個人の自立と他者との協働を図りながら、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、その解決に向けて的確に判断し創造的・実践的・主体的に行動できる人材
- 具体的には、金融業・サービス業・製造業などの各種産業や、公務・会計・税務・法務・商業教育・調査研究等の分野において、国際社会および地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

2. アドミッション・ポリシー

上記のような教育目的に基づき、次のような人を求めています。

- (1)経済学・経営学・法学等を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を有する人。
- (2)社会・経済における諸問題に関心を持ち、卒業後、専門知識を活かして関連分野で能力を発揮したい人。
- (3)主体的に学修し、新しいことに積極的に挑戦する意欲を有する人。
- (4)コミュニケーション能力を持ち、協調性があり活発に議論ができ、リーダーシップを有する人。

また、特にスポーツ推薦入試では次のような人を求めます。

- (5)スポーツマネジメントに関心を持ち、関連する経営学・経済学などの専門領域の学修に積極的に取り組める人。
- (6)スポーツの実践・普及・振興に関心を有する人。

3. 入学者選抜の基本方針

本学部では、一般入試（前期日程・後期日程）のほか、推薦入試・スポーツ推薦入試・社会人特別入試・帰国子女特別入試・私費外国人留学生特別入試および第3年次編入試など、複数の入学者選抜方式を採用することで、多様な人材の受け入れを目指しています。

- (1)一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5～6教科の基礎的・総合的学力をみるとともに、個別学力検査では英語と数学を実施します。
- (2)一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で外国語を含む2～3科目の基礎的な学力をみるとともに、個別学力検査（小論文）の配点を大きくとることで、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）に秀でた人を求めます。
- (3)推薦入試では、高等学校において優秀な学業成績を収め、かつ、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を有するとともに、高いコミュニケーション能力を有する人を求めます。
- (4)スポーツ推薦入試では、高等学校において優秀なスポーツ成績と良好な学業成績を収め、かつ、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を有するとともに、高いコミュニケーション能力を有する人を求めます。
- (5)以上のほか、社会人特別入試・帰国子女特別入試・私費外国人留学生特別入試および第3年次編入試を行い、多様な人材の受け入れを目指します。

システム工学部

1. 学部の教育目的

工学ではなく「システム工学」という学部名称には、教育対象の複合性・総合性が意識されています。したがって本学部の教育目的としてまず第一に、

- (1)視野を広く持ち、技術を体系的に理解できる能力を養う

ことをあげなければなりません。

しかし、初めて高等教育を受ける受験生に対して、総合力だけに重点をおくこともできません。よって、

- (2)専門領域に応じた基礎学力・基礎技術を確実に修得させる

こともまた必要です。すなわち、本学部では専門性にある程度の幅をもたせて科学技術の教育を行うことを目的とします。

「システム」にはまた応用性を重視するという意味合いも含まれています。

本学部では実学教育を旨とし、

- (3)産業・社会のニーズに即応できる実践力を養うこと

も目的として掲げています。

これには、知識と技術を実際の製造物に応用できる能力とともに、システムを開発・運用するプ

ロセスに必要なコミュニケーション能力を養うことも含まれます。

2. アドミッション・ポリシー

前節で設定した教育目的を実現するため、本学部の受験生に対し、下記のようなアドミッション・ポリシーを掲げています。高等学校等で履修すべき具体的な教科・科目等については、入学者選抜実施教科・科目を参考にしてください。

- (1)工学系大学教育にたえるため、理数系の基礎知識と問題解決能力を求める。
- (2)システム工学特有の複合領域の大学教育に適合するよう、論理的思考力と状況判断力、さらに高い倫理感を求める。
- (3)今日の技術者・研究者に必要な英語力とコミュニケーション力の素養を求める。

観光学部

1. 学部の教育目的

21世紀は「観光の時代」と言われ、世界のあらゆる国・地域で最も有望な成長分野として観光が注目を集めています。わが国においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取り組みが加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造および観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性ならびにグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を持つ観光人材の輩出が期待されています。

このような背景のもと、観光学部では「観光経営」・「地域再生」・「観光文化」という3つの基本領域（コース）の相互関係として観光学の学問体系の全体像を認識しつつ、このうちのいずれかの領域に主たる専門性（より深い教養）を発揮できる人材を養成することを目指します。

現代社会で求められる実践的な諸課題に対しては、専門性を活かして応用することができる「包括的対応力（ジェネリックスキル）」が必要です。英語による専門科目の履修機会を飛躍的に増加させることにより、異文化コミュニケーション力を高め、グローバル化した社会状況への高度な対応力を涵養することを重視します。さらに、地域の諸課題に取り組む実践型教育の機会を拡充することにより、オンサイトでの創造的実践力を身に付けることを目指します。

2. アドミッション・ポリシー

- (1)学問への探究心にあふれ、課題解決のために論理的に思考できる人
- (2)明確な目的意識を持ち、新しいことに積極的に挑戦できる人
- (3)高いコミュニケーション能力を持ち、リーダーシップを発揮できる人
- (4)観光に関連する組織体の経営問題に関心がある人
- (5)観光を通じた地域再生の問題に関心がある人
- (6)国際的な交流や、国内外の様々な地域の文化に関心がある人
- (7)インターンシップやフィールド調査などの学外実習に意欲的に取り組むことのできる人
- (8)大学で修得した知識を活用して社会で活躍したい人

I 入学定員および募集人員

学部	学科・課程	入学定員	募 集 人 員								
			一般入試		特 別 入 試						
			前期日程	後期日程	推薦入試(一般)	推薦入試(地域) [紀南]	スポーツ推薦入試	帰国子女特別入試	社会人特別入試	AO入試	私費外国留学生特別入試
教育学部	学校教育教員養成課程	145	85 (備考1参照)	30 (備考1参照)	20 (備考2参照)	10 (備考2参照)	—	—	—	—	若干名
	小 計	145	85	30	20	10	—	—	—	—	—
経済学部	経済学科*	300*	180*	80	30*	—	4	3	3	—	若干名
	小 計	300*	180*	80	30*	—	4	3	3	—	—
システム工学部	システム工学科	305	170	100	35	—	—	—	—	—	若干名
	小 計	305	170	100	35	—	—	—	—	—	—
観光学部	観光学科*	120*	55*	35*	25	—	—	—	2	3	若干名
	小 計	120*	55*	35*	25	—	—	—	2	3	—
合 計		870	490	245	110	10	4	3	5	3	—

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

〔備考〕

- 1 教育学部の学校教育教員養成課程の一般入試は、次のとおり募集します。

課 程	系・専攻	募 集 人 員		
		前期日程	後期日程	
学校教育教員養成課程	文 科 系	38	20	
	理 科 系	27	10	
	実技系	音楽又は美術	10	/
		保 健 体 育	10	
計		85	30	

(注)①文科系または理科系を受験し、合格した人は、入学後に各コース（初等教育コース、中等教育コース、特別支援教育コース）への所属を決定します。

②実技系を受験し、合格した人は、入学後に各コース（初等教育コース、中等教育コース）への所属を決定します。

- 2 教育学部の学校教育教員養成課程の特別入試（推薦入試）は、次のとおり募集します。

課 程		コース	募集人数
学校教育教員養成課程	一般推薦枠	初等教育コース（文科系又は理科系）	10
		中等教育コース（文科系又は理科系）	5
		特別支援教育コース	5
	地域（紀南）推薦枠	初等教育コース（文科系又は理科系）	5
		中等教育コース（文科系又は理科系）	5
計			30

（注）推薦入試を受験し、合格した人は、入学後、コースの変更を認めません。

- 3 教育学部の募集区分と入学後のコース・専攻の対応は下表のとおりです。

〈一般入試〉

募集区分		入学後のコース・専攻		
学校教育教員養成課程	文科系	初等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育	
		中等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育	
		特別支援教育コース	特別支援教育学	
	理科系	初等教育コース	教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育	
		中等教育コース	教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育	
		特別支援教育コース	特別支援教育学	
	実技系	音楽又は美術	初等教育コース	音楽科教育 図画工作科教育
			中等教育コース	音楽科教育 美術科教育
		保健体育	初等教育コース	体育科教育
中等教育コース			保健体育科教育	

（注）なお上記の欄は変更されることがあります。

〈推薦入試〉

募集区分		入学後の専攻	
学校教育教員養成課程	一般推薦枠	初等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
			理科系：教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
		中等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
		理科系：教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育	
		特別支援教育コース	特別支援教育学
	地域（紀南）推薦枠	初等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
			理科系：教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
		中等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
			理科系：教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育

（注）なお上記の欄は変更されることがあります。

- 4 特別入試の推薦入試、スポーツ推薦入試、帰国子女特別入試、社会人特別入試、AO入試の合格者が、その募集人員に満たない場合には、その差の募集人員を前期日程の募集人員に含めて募集します。
- 5 私費外国人留学生特別入試は、入学定員外で募集を行います。

II 出願資格

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者となります。

- 1 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者および平成28年3月卒業見込みの者。
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成28年3月修了見込みの者。
- 3 大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、次のいずれかに該当する者。
 - (1)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成28年3月までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
 - (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成28年3月までに修了見込みの者。
 - (3)専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以降に修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者。
 - (4)文部科学大臣が指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - (5)高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者および平成28年3月31日までに合格見込みであることが証明される者。
（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。）
 - (6)本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年4月1日までに18歳に達するもの。

上記出願資格3の(6)により一般入試に出願する者は、個別に入学資格の認定を受ける必要がありますので8頁の「VI 個別の入学資格審査の申請方法等」を参照のうえ、申請してください。

III 入学試験の実施方法

本学の平成28年度入学者選抜は、一般入試および特別入試（推薦入試、スポーツ推薦入試、帰国子女特別入試、社会人特別入試、AO入試、私費外国人留学生特別入試）で実施します。

一般入試においては、学科・課程・系の入学定員を分割し、「前期日程」および「後期日程」による「分離分割方式」で個別学力検査等を実施します。

IV 出願要件

一般入試および大学入試センター試験を課す推薦入試に出願する者は、平成28年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者であること。なお、本学では、過年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。

なお、平成28年度大学入試センター試験で、「数学」について、「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）においてこれらの科目を履

修した者（大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。）および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

また、経済学部に出願する者で、個別学力検査の「前期日程」で「簿記」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）においてこれらの科目を履修した者（大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。）および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

（注）特別入試（推薦入試、スポーツ推薦入試、帰国子女特別入試、社会人特別入試、AO入試、私費外国人留学生特別入試）の出願要件は、24頁から40頁を参照してください。

V 他の国公立大学・学部および本学学部間の併願

志願者は、個別学力検査等について、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学に出願することができます。

したがって、「前期日程—後期日程」の併願はできますが、「前期日程—前期日程」「後期日程—後期日程」の併願はできませんので注意してください。

また、本学の学部間においても、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの学部または学部の学科・課程等に併願することができます。

なお、その場合は、それぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めてください。

VI 個別の入学資格審査の申請方法等

1 入学資格審査の対象者

次のいずれにも該当する者

(1)学校教育法に規定する通常の課程の修了者（修了見込み者を含みます。）に該当しない者で、入学する年度の学年の初めにおいて18歳以上であるもの。

(2)申請者の学習歴、実務経験および取得している資格等を総合的に判断し、次のいずれかに該当し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるもの。

①個人の学習歴等が高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有する者と本学が認めるもの。

②取得している資格等に係る資格試験において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有することを確認する学力試験を課し、かつ専門的知識等を審査のうえ与えられる職業資格を取得している者で、本学が相当と認めるもの。

2 審査対象となる選抜方法

一般入試（前期日程・後期日程）

3 審査方法

本学ウェブサイトを参照してください。

URL：<http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/faculty/competence/>

4 申請手続

(1)受付期間

第1回 平成27年8月17日(月)～8月21日(金)

※平成28年度の大学入試センター試験を受験する場合は、第1回審査で認定を受ける必要が

あります。

第2回 平成28年1月18日(月)～1月20日(水)

(2)申請書類および提出方法

本学ウェブサイトを参照してください。

5 本件に関する問合せ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930

和歌山大学入試課 TEL 073-457-7116 (直通)

VII 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査、実技検査等および調査書などの出願書類により総合して行います。

1. 入学者選抜方法等

(1)平成28年度 和歌山大学入学者選抜方法等

(一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試)

No.1

				個別学力検査等					専門高校・総合学科卒業生入試					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考(欠員の補充の方法等)	
				実技検査等		2段階選抜			実技検査等								
																	個別学力検査を課する
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	募集人員									
学部・学科名	前期日程	学校教育教員養成課程	文科系	○	×	×	×	×							×	2月25日(木)	欠員補充の方法については、学生募集要項で明記する。
			理科系	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
			実技系	×	○	×	×	×									
	後期日程	学校教育教員養成課程	文科系	×	×	×	○	×									
			理科系	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			
			実技系	×	×	×	○	×									

選抜方法等		学部・学科名		個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生入試				アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）	
				実技検査等			2段階選抜			実技検査等							
				個別学力検査を課する	面接を課する	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数		外国人語におけるリスニングテストを課する	面接を課する	小論文を課する	外国人語におけるリスニングテストを課する				募集人員
								主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	定員に対する倍率								
前期日程	後期日程	実技検査を課する		面接を課する		小論文を課する		外国語におけるリスニングテストを課する		募集人員		2月25日(木)	3月12日(土)	欠員補充の方法については、学生募集要項で明記する。			
		経済学部	経済学科*	○	×	×	×	×	×	×	×				×	×	×
経済学部	経済学科*	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め [設置申請中] であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

選抜方法等 学部・学科名		個別学力検査等										専門高校・総合学科 卒業生入試			備考(欠員の補充の方法等)				
		実技検査等					2段階選抜					実技検査等				アドミッション・オフィス入試			
		個別学力検査を課する	記述解答問題を課する(総合問題)	面接を行う	プレゼンテーションを課する	実技検査を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数		その他	個別学力検査を課する	面接を行う	小論文を課する			外国語におけるリスニングテストを課する	募集人員	
									定員	倍率									
に対する																			
システム工学部	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(木)	欠員補充の方法については、学生募集要項で明記する。
	後期日程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

選抜方法等		学部・学科名		個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生入試				アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）	
				実技検査等			2段階選抜			実技検査等							
				個別学力検査を課する	面接を課する	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数		外国人として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	募集人員						
								定員に対する倍率	その他		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を課する				小論文を課する
観 光 学 部	前期日程	観光学科*	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	2月25日(木)	欠員補充の方法については、学生募集要項で明記する。
	後期日程	観光学科*	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日(土)	

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

(2)平成28年度 和歌山大学入学者選抜方法等（特別入試）

選抜方法等 学部・学科名				推 薦 入 試							推薦入試募集人員	帰国子女・社会人等のための特別入試			備 考		
				入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する								推薦入試募集人員	帰国子女	中国引揚者等子女		社会人	
				個別入試 センター試験を課する	個別学力検査を免除し、大学入試	実技検査等											その他
						実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他							
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース (文科系又は理科系)	○	×	×	○	×	×	×	10名	×	×	×				
		中等教育コース (文科系又は理科系)	○	×	×	○	×	×	×	5名	×	×	×				
		特別支援教育コース	○	×	×	○	×	×	×	5名	×	×	×				
	地域(紀南) 推薦枠入試	初等教育コース (文科系又は理科系)	×	○	×	○	○	×	×	5名	×	×	×				
		中等教育コース (文科系又は理科系)	×	○	×	○	○	×	×	5名	×	×	×				
経済学部	経済学科*	推薦入試	×	○	×	○	○	×	×	30名*	3名	×	3名				
		スポーツ推薦入試	×	○	×	○	○	×	×	4名							
システム工学部		システム工学科	○	×	×	○	×	×	×	35名	×	×	×				
観光学部		観光学科*	×	○	×	○	×	×	×	25名	×	×	2名				

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め「設置申請中」であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め「設置申請中」であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

2. 入学者選抜実施教科・科目等について

教育学部

平成28年度 和歌山大学入学者選抜の実施教科・科目等について

No.1

学部・学科等名及び入学定員等 (平成27年度 志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の 入試方法 等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語		総合 問題	小論文
教育学部 (4,7) 前期 145人 後期 85人 その他 30人	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 ※ 現社、倫、政経、倫・政経 数I・教A 数II・教B、簿、情報から1 物理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1) 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目)	国語総合 世B、日B、地理Bから1 } から2 コミュ英I・コミュ英II・ コミュ英III・英表I (2教科)	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 400	推薦 入試 外国 留学生 追加合格
	後期 3月12日	その他	その他	その他	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 1300	
理学部 前期 37人 後期 27人 その他 10人	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・教A 数II・教B、簿、情報から1 物理 物、化、生、地から2 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	教I・教II・教A・教B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、 生物基礎・生物、地学基礎・地学から1 (2教科)	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 400	
	後期 3月12日	その他	その他	その他	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 1100	
実技系 「音楽又は美術」 前期 10人	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 ※もしくは1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・教A 数II・教B、簿、情報から1 物理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1) 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目 もしくは5教科7科目)	実技検査	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 400	
	後期 3月12日	その他	その他	その他	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 1300	
実技系 「保健体育」 前期 10人	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 ※もしくは1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・教A 数II・教B、簿、情報から1 物理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1) 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目 もしくは5教科7科目)	実技検査	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 400	
	後期 3月12日	その他	その他	その他	センター試験 個別学力検査	200 *200	*100 *100	200 *200	100 *100	200 *200	200 *200	200 *200	200 *200	900 1300	

【大学入試センター試験の試験の利用教科・科目名】欄

①選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を採択します。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。

②「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)において、これらの科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。)および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込)者に限ります。

③「学校教育教員養成課程(実技系)(前期日程)」を受験する者は、地歴および公民から2科目を選択した場合には、理科で基礎を付していない科目1科目)を選択するか、もしくは、地歴および公民から1科目を選択した場合には、理科で基礎を付した2科目(又は基礎を付していない科目1科目)を選択してください。

④外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。

⑤旧教育課程履修者に限り、数学の「教II・教B、簿、情報からI」の選択科目として、経過措置科目である「工業教理基礎」を選択することもできます。

ただし、「工業教理基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)において、この科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。)および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了者に限ります。

※ 地歴又は公民で2科目を選択する場合には、同一名称のA・B出題科目、同一名称を含む出題科目同士との組み合わせはできません。

【個別学力検査等】欄

①「国語総合」については、近代以降の文章、古典(古文、漢文)から出題します。

②数学I、数学II、数学Aについては全範囲を出題範囲とします。数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

③「英語表現I」については、リスニングを出題範囲から除きます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

①配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。

②実技系の選抜にあたっては、実技試験の点数が200点に達しない者は総合点にかかわらず不合格とします。

システム工学部

No.3

学部・学科等名及び入学定員等 (平成27年度 志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の 入試方法 等			
		教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		総合 問題	小論文	実技
システム工学部 (3.8)	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経 教I・教Aから1 教II・教B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	数 外	教I・教II・教III・教A・教B コミュニ英I・コミュニ英II・ コミュニ英III・英表I	センター試験	200	*100	*100	200	400	200	400	200	1100	推薦 私費外国 人留学生
前期 2月25日	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経 教I・教Aから1 教II・教B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	その他 (システム工学を学ぶにふさわしい能力・ 適性等を判断する。)	総合問題「記述解答問題」 (システム工学を学ぶにふさわしい能力・ 適性等を判断する。)	センター試験	200	*100	*100	300	300	200	400	400	1100	追加合格
その他 35						計	200	*100	*100	400	400	400	400	400	1500	
						計	200	*100	*100	300	300	200	400	400	1500	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- ①地歴および公民において、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、得点にかかわらず第1解答科目を選択します。
- ②「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。.)において、これらの科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。.)および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込)者に限ります。
- ③外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。
- ④旧教育課程履修者に限り、数学の「数II・数B、簿、情報から1」の選択科目として、経過措置科目である「工業数理基礎」を選択することもできます。

ただし、「工業数理基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。.)において、この科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。.)および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限ります。

【個別学力検査等】欄

- ①数学I、数学II、数学III、数学Aは全範囲を出題範囲とします。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ②「英語表現I」については、リスニングを出題範囲から除きます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。

観光学部

No. 4

学部・学科等名及び入学定員等 (平成27年度 志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の 入試方法 等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		総合 問題	小論文	実技
観光学部 (5.7) 120人* 前期 55 後期 35 その他 30	前期 2月25日	国	世B、日B、地理B } から2 現社、倫、政経、倫・政経	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・ コミュ英Ⅲ・英表Ⅰ	センター試験	200	*100 *100		*100	200	100	200			900	推薦 社会人 AO 私費外国 人留学生 追加合格
		理	数Ⅰ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生基、地基から2(又は物、化、生、地から1) 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目)		個別学力検査	*300				*300		300			600	
	後期 3月12日	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 } または2 数Ⅰ、数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅲ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1) 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (3教科4(3)科目又は2教科3科目)	その他 ・小論文 ・基本的な国語力を試します。 ・課題文を与えて読解力、表現力を 問います。	センター試験	*100	*100 *100	*100	*100	*100	*100	400			600	
		理			個別学力検査							400			400	
		外			計	*100 *300	*100 *100	*100 *300	*100 *300	200 *300	100 *300	500			1500	
					計	*100 *100	*100 *100	*100 *100	*100 *100	*100 *100	*100 *100	400 400			1000	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- ①選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えている場合には、高得点の教科・科目を採用します。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採用します。同様に、理科で基礎を付けない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採用します。
 - ②「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)において、これらの科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。)および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込)者に限り、【世B、日B、地理B】から必ず1科目以上を選択すること。
 - ③前期日程を受験する者は、地歴および公民の2科目を選択する際、【世B、日B、地理B】から必ず1科目以上を選択すること。
 - ④後期日程を受験する者は、地歴および公民から2科目を選択、または数学の【数Ⅰ、数Ⅱ・数Aから1】および【数Ⅱ、数Ⅲ・数B、簿、情報から1】から1科目ずつの計2科目を選択することができます。
 - ⑤後期日程を受験する者は、理科で基礎を付した科目から2科目、他の教科から1科目の計3科目を選択すること。
 - ⑥外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。
 - ⑦外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。
 - ⑧後期日程において、地歴および公民の中から第2解答科目の得点を採用する場合は、第1解答科目の得点を採用した場合に限り、【工業数理基礎】を選択することもできます。
 - ⑨旧教育課程履修者に限り、数学の「数Ⅱ・数B、簿、情報から1」の選択科目として、経過措置科目である「工業数理基礎」を選択することもできます。
- ただし、「工業数理基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)において、この科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含みます。)および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限り、【工業数理基礎】を選択することもできます。

【個別学力検査等】欄

- ①前期日程の「国語総合」については、近代以降の文章、古典(古文、漢文)から出題します。
- ②数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲を出題範囲とします。数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ③「英語表現Ⅰ」については、リスニングを出題範囲から除きます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付したる教科は、選択教科を表します。

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め「設置申請中」であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

3. 平成28年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置

高等学校学習指導要領の改訂に伴う平成28年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置については、下記のとおりとする。

なお本経過措置は平成28年度限りの措置とする。

（科目選択の方法）

「工業数理基礎」は、数学②において出題する「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の4科目と合わせ、計5科目のうちから1科目を選択解答する。

※「工業数理基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において、これらの科目を履修した者（大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含む。）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限る。

※「工業数理基礎」は、旧教育課程履修者のための出題科目です。新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できないので注意すること。

（注）

新教育課程履修者	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 * 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成28年3月卒業見込みであるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者

※「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

美術	共通 〔全員が受験してください。〕	造形表現Ⅰ（平面） 与えられたモチーフを配置し、鉛筆を用いて素描してください。 (試験時間：120分)	持参物 素描用黒鉛筆、練り消しゴム、プラスチック消しゴム、カッターナイフ、30cm程度の直定規、三角定規(一組)、コンパス ※その他の道具等はすべて大学で用意します。
		造形表現Ⅱ（立体） 与えられた主題を、配付された素材(紙)の特性を生かして立体的に表現してください。 (試験時間：180分)	
保健体育	共通 〔全員が受験してください。〕	〔基礎運動能力テスト〕 1. 12分間走 2. 立ち幅跳び 3. ハンドボール投げ 4. マット運動	出身学校長等の作成したスポーツ歴調書(所定様式)および志願者が作成した選択種目提出票(所定様式)を出願時に提出してください。 雨天の場合は基礎運動能力テストの種目に一部変更があります。 ○各種目に応じたシューズの使用を認めます。体育館シューズを別に用意してください。 ○バドミントン・テニス受験者はラケットの持参を認めます。 ○柔道受験者は柔道衣を持参してください。 ○野球受験者はグローブ、バット、ヘルメットを持参してください。
		〔種目別 実技テスト〕 1. 陸上競技 (100m、800m、走幅跳、走高跳、砲丸投、槍投、ハンマー投、円盤投から1種目) 2. バスケットボール 3. バレーボール 4. サッカー 5. 柔道 6. バドミントン 7. 創作ダンス 8. 野球(硬式) 9. ハンドボール 10. テニス(硬式)	

5. 個別学力検査等実施教科・科目の試験時間

●前期日程

学部	教科	学 力 検 査					実 技 検 査
		国 語	数 学	外国語	地理歴史	理 科	
教 育 学 部		90分	90分	90分	90分	90分	学力検査3教科分の所要時間に準ずる。
経 済 学 部			90分	90分			
システム工学部			120分	90分			
観 光 学 部		90分	90分	90分			

●後期日程

学部・課程	教 科	学 力 検 査 等	
		小 論 文	
教 育 学 部		120分	

学 部	教 科	学 力 検 査	
		小 論 文	
経 済 学 部		90分	

学 部	教 科	学 力 検 査	
		総合問題「記述解答問題」	
システム工学部		120分	

学 部	教 科	学 力 検 査	
		小 論 文	
観 光 学 部		90分	

6. 特別入試

平成28年度 特別入試方法（推薦入試一般推薦枠）

No. 1

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース（文科系又は理科系）																									
募集人員	10名																									
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり、1名とします。）。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)「初等教育」に関心を持ち、小学校教員を志望する者。</p> <p>(3)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>																									
入試方法等	<p>大学入試センター試験の成績、面接の成績および出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <p>(1)実施教科・科目等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th rowspan="2">個別学力検査等の教科・科目等</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td rowspan="2">国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">面 接</td> </tr> <tr> <td>地歴 公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A 数II・数B、簿、情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">【5教科7(6)科目】</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験における選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を採択します。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）において、これらの科目を履修した者に限りません。</p> <p>(注3) 外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。</p> <p>(注4) 大学入試センター試験の旧教育課程履修者に対する経過措置については、20頁を参照してください。</p> <p>(2)配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>大学入試センター試験</th> <th>面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">200(800×0.25)</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table>	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等の教科・科目等	教科	科目名等	国	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	面 接	地歴 公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数I・数A 数II・数B、簿、情報から1	理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	【5教科7(6)科目】			大学入試センター試験	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	200(800×0.25)	300	500
大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等の教科・科目等																								
教科	科目名等																									
国	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	面 接																								
地歴 公民			現社、倫、政経、倫・政経																							
数	数I・数A 数II・数B、簿、情報から1																									
理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）																									
外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1																									
【5教科7(6)科目】																										
大学入試センター試験	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計																								
200(800×0.25)	300	500																								
出願期間	平成28年1月5日(火)～1月7日(休)																									
入試期日	平成28年1月30日(土)																									
合格発表日	平成28年2月7日(日)																									
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。																									

(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。

平成28年度 特別入試方法（推薦入試一般推薦枠）

No. 2

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース（文科系又は理科系）																
募集人員	5名																
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり、1名までとします。）。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)「中等教育」に関心を持ち、中学校教員を志望する者。</p> <p>(3)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>																
入試方法等	<p>大学入試センター試験の成績、面接の成績および出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <p>(1)実施教科・科目等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th style="text-align: center;">個別学力検査等の教科・科目等</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">教科</th> <th style="text-align: center;">科目名等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">国 地歴 公民 数 理 外</td> <td> 国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1） 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【5教科7(6)科目】 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">面接</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験における選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を採択します。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）において、これらの科目を履修した者に限ります。</p> <p>(注3) 外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。</p> <p>(注4) 大学入試センター試験の旧教育課程履修者に対する経過措置については、20頁を参照してください。</p> <p>(2)配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">大学入試センター試験</th> <th style="text-align: center;">面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">200(800×0.25)</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table>		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等の教科・科目等	教科	科目名等		国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1） 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【5教科7(6)科目】	面接	大学入試センター試験	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	200(800×0.25)	300	500
	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等の教科・科目等														
	教科	科目名等															
	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1） 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【5教科7(6)科目】	面接														
大学入試センター試験	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計															
200(800×0.25)	300	500															
出願期間	平成28年1月5日(火)～1月7日(休)																
入試期日	平成28年1月30日(土)																
合格発表日	平成28年2月7日(日)																
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。																

(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。

平成28年度 特別入試方法（推薦入試一般推薦枠）

No. 3

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース														
募集人員	5名														
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり、1名とします。）。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)「特別支援教育学」に関心を持ち、特別支援学校教員を志望する者。</p> <p>(3)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>														
入試方法等	<p>大学入試センター試験の成績、面接の成績および出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <p>(1)実施教科・科目等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">個別学力検査等の教科・科目等</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">教科</th> <th style="text-align: center;">科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">国 地歴 公民 数 理 外</td> <td> 国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1） 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 <p style="text-align: center;">【5教科7(6)科目】</p> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">面接</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)大学入試センター試験における選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を採択します。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。</p> <p>(注2)「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)において、これらの科目を履修した者に限りません。</p> <p>(注3)外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。</p> <p>(注4)大学入試センター試験の旧教育課程履修者に対する経過措置については、20頁を参照してください。</p> <p>(2)配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">大学入試センター試験</th> <th style="text-align: center;">面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">200(800×0.25)</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table>	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等の教科・科目等	教科	科目名等	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1） 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 <p style="text-align: center;">【5教科7(6)科目】</p>	面接	大学入試センター試験	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	200(800×0.25)	300	500
大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等の教科・科目等													
教科	科目名等														
国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1） 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 <p style="text-align: center;">【5教科7(6)科目】</p>	面接													
大学入試センター試験	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計													
200(800×0.25)	300	500													
出願期間	平成28年1月5日(火)～1月7日(休)														
入試期日	平成28年1月30日(土)														
合格発表日	平成28年2月7日(日)														
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。														

(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。

平成28年度 特別選抜方法（推薦入試 地域（紀南）推薦枠）

No. 4

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース（文科系又は理科系）						
募集人員	5名						
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当し、和歌山県紀南（御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡）に所在する出身学校長が責任をもって推薦できる者。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)調査書全体の評定平均値が4.0以上の者（出願直前の学期までの成績による）。</p> <p>(3)「初等教育」に関心を持ち、紀南の小学校教員を志望する者。</p> <p>(4)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>						
選抜方法等	<p>小論文の成績、面接の成績ならびに出願書類（推薦書、志望理由書および調査書）により総合的に行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">小論文</th> <th style="text-align: center;">面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	250	250	500
小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計					
250	250	500					
出願期間	平成27年11月2日(月)～11月5日(木)						
入試期日	平成27年11月21日(土)および11月22日(日)						
合格発表日	平成27年12月11日(金)						
その他	問い合わせについては、44ページを参照してください。						

(注)地域（紀南）推薦枠については、各校3名を上限とします。

(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。

平成28年度 特別選抜方法（推薦入試 地域（紀南）推薦枠）

No. 5

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース（文科系又は理科系）						
募集人員	5名						
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当し、和歌山県紀南（御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡）に所在する出身学校長が責任をもって推薦できる者。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)調査書全体の評定平均値が4.0以上の者（出願直前の学期までの成績による）。</p> <p>(3)「中等教育」に関心を持ち、紀南の中学校教員を志望する者。</p> <p>(4)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>						
選抜方法等	<p>小論文の成績、面接の成績ならびに出願書類（推薦書、志望理由書および調査書）により総合的に行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">小論文</th> <th style="text-align: center;">面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	250	250	500
小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計					
250	250	500					
出願期間	平成27年11月2日(月)～11月5日(木)						
入試期日	平成27年11月21日(土)および11月22日(日)						
合格発表日	平成27年12月11日(金)						
その他	問い合わせについては、44ページを参照してください。						

(注)地域（紀南）推薦枠については、各校3名を上限とします。

(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。

平成28年度 特別入試方法（推薦入試）

No. 6

実施学部・学科名	経済学部（経済学科※）						
募 集 人 員	30名※						
出 願 要 件	<p>次の条件のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり、3名までとします。）。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者（出願時直前の学期までの成績によります。）。</p> <p>(3)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>						
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、筆記試験（小論文）、面接（与えられたテーマに関する集団討論）および推薦書、調査書等の出願書類により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">小論文</td> <td style="padding: 5px;">面接および出願書類</td> <td style="padding: 5px;">合 計</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">200</td> </tr> </table>	小論文	面接および出願書類	合 計	100	100	200
小論文	面接および出願書類	合 計					
100	100	200					
出 願 期 間	平成27年11月2日(月)～11月5日(木)						
入 試 期 日	平成27年11月28日(土)						
合 格 発 表 日	平成27年12月11日(金)						
そ の 他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。						

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法（スポーツ推薦入試）

No. 7

実施学部・学科名	経済学部（経済学科※）						
募集人員	4名						
出願要件	<p>次のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり、1名とします。）。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者（出願時直前の学期までの成績によります。）。</p> <p>(3)学校長から推薦される者（学業とスポーツを3年間両立させてきたことによる推薦であること。）。</p> <p>(4)高等学校の運動部の顧問あるいは所属する団体の監督・責任者から推薦される者（優れた人間性と、全国大会水準のスポーツ技能を有することによる推薦であること。）。</p> <p>(5)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。かつ入学後は本学体育会所属団体あるいはその他の団体でスポーツ活動を継続する意志を有する者。</p>						
入試方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、筆記試験（小論文）、面接および出願書類（推薦書、志望理由書、調査書、スポーツ活動実績等）により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">小論文</td> <td style="padding: 5px;">面接および出願書類</td> <td style="padding: 5px;">合計</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">200</td> <td style="padding: 5px;">300</td> </tr> </table>	小論文	面接および出願書類	合計	100	200	300
小論文	面接および出願書類	合計					
100	200	300					
出願期間	平成27年11月2日(月)～11月5日(木)						
入試期日	平成27年11月28日(土)						
合格発表日	平成27年12月11日(金)						
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。						

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法（推薦入試）

No. 8

実施学部・学科名	システム工学部（システム工学科）																																								
募集人員	35名																																								
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者。</p> <p>(1)高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者、もしくは平成28年3月に卒業見込みの者、特別支援学校（高等部）を修了した者、もしくは平成28年3月に修了見込みの者、又は高等専門学校3年次を平成28年3月に修了見込みの者。</p> <p>(2)学業成績が優秀で本学部での学習に強い意欲をもつ者。</p> <p>(3)合格した場合、入学することを確約できる者。</p>																																								
入試方法等	<p>入試は、出願書類、大学入試センター試験の成績および面接の結果を総合的に判定します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学科名</th> <th colspan="3">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th colspan="2">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> <th>教科・科目名等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">システム工学科</td> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> <td rowspan="6">面接</td> <td rowspan="6">600</td> <td rowspan="6">1800</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I、数I・数Aから1</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>数II、数II・数B、簿、情報から1</td> <td>150×2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計5教科7科目</td> <td>1200</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)大学入試センター試験の地歴および公民において、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、得点にかかわらず第1解答科目を採択します。</p> <p>(注2)「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）においてこれらの科目を履修した者に限りません。</p> <p>(注3)外国語の「英語」については、筆記試験(200点)とリスニングテスト(50点)の合計得点を200点に換算したものを得点(素点)とします。</p> <p>(注4)大学入試センター試験の旧教育課程履修者に対する経過措置については、20頁を参照してください。</p>	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		合計	教科	科目名等	配点	教科・科目名等	配点	システム工学科	国	国	200	面接	600	1800	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	100	公民	現社、倫、政経、倫・政経	150	数	数I、数I・数Aから1	150	理	数II、数II・数B、簿、情報から1	150×2	外	物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	300	計5教科7科目			1200		
学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		合計																																			
	教科	科目名等	配点	教科・科目名等	配点																																				
システム工学科	国	国	200	面接	600	1800																																			
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	100																																						
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	150																																						
	数	数I、数I・数Aから1	150																																						
	理	数II、数II・数B、簿、情報から1	150×2																																						
	外	物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	300																																						
計5教科7科目			1200																																						
出願期間	平成28年1月5日(火)～1月7日(木)																																								
入試期日	平成28年1月29日(金)または1月30日(土) (詳細は、受験票発送時に志願者本人に通知します。)																																								
合格発表日	平成28年2月7日(日)																																								
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。																																								

平成28年度 特別入試方法（推薦入試）

No. 9

実施学部・学科名	観光学部（観光学科*）		
募集人員	25名		
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり、3名までとします。）。</p> <p>(1)平成28年3月、高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業見込みの者、もしくは特別支援学校（高等部）又は高等専門学校3年次を修了見込みの者。</p> <p>(2)調査書の「学習成績概評」がB段階（全体の評定平均値3.5）以上の者（出願時直前の学期までの成績によります。）。</p> <p>(3)受験することを確約でき、合格した場合には入学することを確約できる者。</p>		
入試方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接（高等学校時代の優れた実績や体験などの自己アピールを含みます。）、推薦書、自己推薦書および調査書により総合して判定します。出願時に英語による面接、英語による自己推薦書の作成を選択できます。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">面 接</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	面 接	100
面 接			
100			
出願期間	平成27年11月2日(月)～11月10日(火)		
入試期日	平成27年12月5日(土)または12月6日(日) (詳細は、受験票発送時に志願者本人に通知します。)		
合格発表日	平成27年12月18日(金)		
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。		

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法（帰国子女特別入試）

No.10

実施学部・学科名	経済学部（経済学科※）		
募集人員	3名		
出願要件	<p>日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者（保護者が先に日本に帰国した後、引き続き単身で在留している者を含む）のうち、次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を2014年4月1日から2016年3月31日までに修了した者または修了見込みの者で外国において最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けた者。</p> <p>ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とみなしません。</p> <p>(2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を2014年または2015年に授与された者で、2016年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>(3)外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2014年または2015年に取得した者で、2016年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>(4)外国において、フランス共和国のバカロレア資格証書を2014年または2015年に授与された者で、2016年3月31日までに18歳に達する者。</p>		
入試方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接（日本語）および出願書類（課題レポート等）により、総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 150px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">面接および出願書類</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">300</td> </tr> </table>	面接および出願書類	300
面接および出願書類			
300			
出願期間	平成27(2015)年11月2日(月)～11月5日(木)		
入試期日	平成27(2015)年12月3日(木)		
合格発表日	平成27(2015)年12月11日(金)		
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。		

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法（社会人特別入試）

No.11

実施学部・学科名	経済学部（経済学科※）		
募集人員	3名		
出願要件	<p>出願時点で<u>社会人の経験を3年以上</u>(注)有し、平成28年3月31日までに年齢満21歳以上で、次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者および平成28年3月卒業見込みの者。</p> <p>(2)特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者および平成28年3月修了見込みの者。</p> <p>(3)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成28年3月修了見込みの者。</p> <p>(4)高等学校卒業程度認定試験（または大学入学資格検定試験）合格者および平成28年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(5)旧制諸学校の卒業者または中途退学者で、文部科学大臣の定めるところにより大学入学資格を有する者。</p> <p>(注) <u>社会人の経験を3年以上</u>には、夜間または通信制以外の学校在学期間は含めません。</p>		
入試方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接および出願書類（志望理由書・キャリアレポート等）により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 150px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">面接および出願書類</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">300</td> </tr> </table>	面接および出願書類	300
面接および出願書類			
300			
出願期間	平成27年11月2日(月)～11月5日(木)		
入試期日	平成27年12月3日(木)		
合格発表日	平成27年12月11日(金)		
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。		

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法（社会人特別入試）

No.12

実施学部・学科名	観光学部（観光学科*）						
募集人員	2名						
出願要件	<p>平成28年3月31日までに年齢満25歳に達し、<u>社会人の経験を3年以上</u>(注)有する者で、次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者および平成28年3月卒業見込みの者。</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成28年3月修了見込みの者。</p> <p>(3)高等学校卒業程度認定試験（または大学入学資格検定試験）合格者および平成28年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(4)旧制諸学校の卒業者または中途退学者で、文部科学大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者。</p> <p>(注) <u>社会人の経験を3年以上</u>には、夜間または通信制以外の学校在学期間は含めません。</p>						
入試方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、筆記試験(小論文)、面接により総合して判定します。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">小論文</td> <td style="padding: 5px;">面接</td> <td style="padding: 5px;">合計</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">200</td> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">300</td> </tr> </table>	小論文	面接	合計	200	100	300
小論文	面接	合計					
200	100	300					
出願期間	平成27年11月2日(月)～11月10日(火)						
入試期日	平成27年12月5日(土)						
合格発表日	平成27年12月18日(金)						
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。						

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め「設置申請中」であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法 (AO入試)

No.13

実施学部・学科名	観光学部 (観光学科*)											
募集人員	3名											
出願要件	<p>以下の(1)~(4)のすべての要件を満たす者。</p> <p>(1)次の①から④のいずれかの要件を満たす者。</p> <p>①高等学校 (中等教育学校の後期日程を含みます。) を平成27年3月に卒業した者及び平成28年3月に卒業見込みの者。 <small>※卒業見込みの者には、学校長の出願承諾書の提出を求めます。</small></p> <p>②通常の課程による12年の学校教育を平成27年3月以降修了した者及び平成28年3月に修了見込みの者。</p> <p>③専修学校の高等課程 (修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。) で文部科学大臣が別に指定するものを平成27年3月に修了した者及び平成28年3月に修了見込みの者 (かつ、文部科学大臣が別に定める日以降であること)。 <small>※修了見込みの者には、学校長の出願承諾書の提出を求めます。</small></p> <p>④高等学校卒業程度認定試験合格者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、平成28年4月1日に年齢満18歳又は満19歳の者。</p> <p>(2)上記(1)①で出願する場合には、調査書の「学習成績概評」がB段階 (全体の評定平均値3.5) 以上の者。(出願時直前の学期までの成績によります。)</p> <p>(3)次のいずれかの成績を修めた者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団法人日本英語検定協会実用英語検定 2級以上合格 ・TOEIC (団体特別受験制度 (TOEIC IP) により受験した成績は認めません。) 500点以上 ・TOEFL iBT 52点以上 ・TOEFL PBT (団体特別受験制度 (TOEFL ITP) により受験した成績は認めません。) 470点以上 ・GTEC 450点以上 <p>(4)受験することを確約でき、合格した場合には入学できることを確約できる者。</p>											
入試方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接およびプレゼンテーション並びに出願書類により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 33.33%;">第1次選考</td> <td style="width: 33.33%;">第2次選考</td> <td style="width: 33.33%;">第3次選考</td> </tr> <tr> <td>書類選考</td> <td>面接</td> <td>プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>			第1次選考	第2次選考	第3次選考	書類選考	面接	プレゼンテーション	100	100	100
第1次選考	第2次選考	第3次選考										
書類選考	面接	プレゼンテーション										
100	100	100										
出願期間	平成27年8月3日(月)~8月6日(木)											
入試期日	<p>第1次選考：志願書および調査書等により選考を行います。</p> <p>第2次選考：平成27年9月20日(日)</p> <p>第3次選考：平成27年10月25日(日)</p>											
合格発表日	<p>第1次選考結果：平成27年9月9日(木)までに郵送により通知</p> <p>第2次選考結果：平成27年9月30日(木)までに郵送により通知</p> <p>第3次選考結果：平成27年10月30日(金)</p>											
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42~44ページを参照してください。											

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め [設置申請中] であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法（私費外国人留学生特別入試）

No.14

実施学部・学科名	教育学部（学校教育教員養成課程）																														
募集人員	若干名																														
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当する者。</p> <p>(1)日本国籍を有しない者で、日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した者のうち、次の①または②に該当する者。</p> <p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または2016年3月までに修了見込みの者もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。</p> <p>②国際バカロレア資格、アビトゥア資格またはバカロレア資格(フランス共和国)を有する者で2016年4月1日までに18歳に達する者。</p> <p>(2)出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得する見込みの者。</p> <p>(3)独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2015年度日本留学試験」（6月実施分または11月実施分）を受験し、次の条件を満たした者。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">課程・系</th> <th colspan="5">日 本 留 学 試 験</th> <th rowspan="2">得 点 等</th> </tr> <tr> <th>日本語</th> <th>総合科目</th> <th>理 科</th> <th>数 学</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">学校教育教員養成課程</td> <td style="text-align: center;">文科系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">コース1</td> <td rowspan="3" style="font-size: small;">各科目の得点が平均点以上(ただし、「日本語」については、「記述」の点数を除く。)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">理科系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">コース2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実技系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">総合科目または理科のいずれか</td> <td style="text-align: center;">コース1またはコース2のいずれか</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">(注1)理科は物理、化学、生物から2科目を選択してください。 (注2)総合科目、理科、数学の出題言語は日本語とします。</p>	課程・系		日 本 留 学 試 験					得 点 等	日本語	総合科目	理 科	数 学		学校教育教員養成課程	文科系	○	○	×	コース1	各科目の得点が平均点以上(ただし、「日本語」については、「記述」の点数を除く。)	理科系	○	×	○	コース2	実技系	○	総合科目または理科のいずれか		コース1またはコース2のいずれか
課程・系				日 本 留 学 試 験						得 点 等																					
		日本語	総合科目	理 科	数 学																										
学校教育教員養成課程	文科系	○	○	×	コース1	各科目の得点が平均点以上(ただし、「日本語」については、「記述」の点数を除く。)																									
	理科系	○	×	○	コース2																										
	実技系	○	総合科目または理科のいずれか		コース1またはコース2のいずれか																										
入試方法等	<p>(1)日本留学試験の成績および本学において実施する学力検査等の成績ならびに出願書類により総合して行います。</p> <p>(2)配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="4">日本留学試験</th> <th colspan="2">本学が実施する学力検査等</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>日本語 (「記述」は除く。)</th> <th>総合科目</th> <th>理 科</th> <th>数 学</th> <th>日本語による筆記試験</th> <th>面接(日本語)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td></td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">1600</td> </tr> </tbody> </table>	日本留学試験				本学が実施する学力検査等		合計	日本語 (「記述」は除く。)	総合科目	理 科	数 学	日本語による筆記試験	面接(日本語)	400	200		200	400	400	1600										
日本留学試験				本学が実施する学力検査等		合計																									
日本語 (「記述」は除く。)	総合科目	理 科	数 学	日本語による筆記試験	面接(日本語)																										
400	200		200	400	400	1600																									
出願期間	平成28(2016)年1月5日(火)～1月7日(休)																														
入試期日	平成28(2016)年2月19日(金)																														
合格発表日	平成28(2016)年3月6日(日)																														
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。																														

平成28年度 特別入試方法（私費外国人留学生特別入試）

No.15

実施学部・学科名	経済学部（経済学科*）							
募集人員	若干名							
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当する者。</p> <p>(1)日本国籍を有しない者で、日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した者のうち、次の①または②に該当する者。</p> <p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または2016年3月までに修了見込みの者もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。</p> <p>②国際バカロレア資格、アビトゥア資格またはバカロレア資格(フランス共和国)を有する者で2016年4月1日までに18歳に達する者。</p> <p>(2)出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得する見込みの者。</p> <p>(3)次の条件を満たしている者。</p> <p>(ア)独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、「日本語」の得点が200点以上（「記述」の点数を除く。）および「総合科目」と「数学(コース1)」との合計得点が240点以上の者。</p> <p>(イ)TOEIC450点以上、またはTOEFL(ペーパー試験)440点以上、またはTOEFL(インターネット試験)42点以上の者。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本留学試験の「総合科目」と「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。 ・日本留学試験で利用できるのは、「2015年度 日本留学試験」の6月実施分または11月実施分のいずれかの試験結果とします。 ・TOEIC、TOEFLで利用できるのは、入試期日から遡ること1年以内に受験した試験結果とします。 </div>							
入試方法等	<p>面接（日本語）、日本留学試験の「日本語」「総合科目」「数学（コース1）」の成績および出願書類により行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">面接および出願書類</th> <th style="width: 33%;">日本留学試験</th> <th style="width: 33%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1200</td> <td style="text-align: center;">800</td> <td style="text-align: center;">2000</td> </tr> </tbody> </table>		面接および出願書類	日本留学試験	合計	1200	800	2000
面接および出願書類	日本留学試験	合計						
1200	800	2000						
出願期間	平成28(2016)年1月5日(火)～1月7日(木)							
入試期日	平成28(2016)年2月19日(金)							
合格発表日	平成28(2016)年3月6日(日)							
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。							

※経済学部は、これまでの経済学科、ビジネスマネジメント学科及び市場環境学科を再編し、平成28年度より経済学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め〔設置申請中〕であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

平成28年度 特別入試方法（私費外国人留学生特別入試）

No.16

実施学部・学科名	システム工学部（システム工学科）																					
募集人員	若干名																					
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当する者。</p> <p>(1)日本国籍を有しない者で、日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した者のうち、次の①または②に該当する者。</p> <p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または2016年3月までに修了見込みの者もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。</p> <p>②国際バカロレア資格、アビトゥア資格またはバカロレア資格(フランス共和国)を有する者で2016年4月1日までに18歳に達する者。</p> <p>(2)出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得する見込みの者。</p> <p>(3)独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、「日本語」が200点以上（「記述」の点数を除く。）および「数学（コース2＝理系用）」と「理科」との合計が240点以上の者。</p> <p style="margin-left: 20px;">（注1）「理科」の選択科目に関しては、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。</p> <p style="margin-left: 20px;">（注2）日本留学試験の各科目の出題言語は、日本語、英語のいずれの受験も可とします。</p> <p style="margin-left: 20px;">（注3）日本留学試験で成績を利用できるのは、原則として「2015年度 日本留学試験」の6月実施分または11月実施分のいずれかの試験結果とします。</p> <p>(4)TOEIC410点以上、またはTOEFL（ペーパー試験）390点以上、またはTOEFL（インターネット試験）29点以上の者。</p> <p style="margin-left: 20px;">（注）TOEIC、TOEFLで利用できる成績は、入試期日から遡ること1年以内に受験した試験結果とします。</p>																					
入試方法等	<p>(1)日本留学試験、本学において実施する日本語による面接の成績および出願書類と合わせて総合的に判定します。</p> <p>(2)配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">日本留学試験</th> <th colspan="2">本学が実施する学力検査等</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>日本語 （「記述」は除く。）</th> <th>数 学</th> <th>理 科</th> <th colspan="2">面 接</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>400</td> <td>200</td> <td>200</td> <td colspan="2">800</td> <td>1600</td> </tr> </tbody> </table>					日本留学試験			本学が実施する学力検査等		合計	日本語 （「記述」は除く。）	数 学	理 科	面 接		400	200	200	800		1600
日本留学試験			本学が実施する学力検査等		合計																	
日本語 （「記述」は除く。）	数 学	理 科	面 接																			
400	200	200	800		1600																	
出願期間	平成28(2016)年1月5日(火)～1月7日(休)																					
入試期日	平成28(2016)年2月19日(金)																					
合格発表日	平成28(2016)年3月6日(日)																					
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。																					

平成28年度 特別入試方法（私費外国人留学生特別入試）

No.17

実施学部・学科名	観光学部（観光学科*）																										
募集人員	若干名																										
出願要件	<p>次の条件のすべてに該当する者。</p> <p>(1)日本国籍を有しない者で、日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した者のうち、次の①または②に該当する者。</p> <p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または2016年3月までに修了見込みの者もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。</p> <p>②国際バカロレア資格、アビトゥア資格またはバカロレア資格(フランス共和国)を有する者で2016年4月1日までに18歳に達する者。</p> <p>(2)出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得する見込みの者。</p> <p>(3)独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2015年度日本留学生試験」（6月実施分または11月実施分）を受験した者でそれぞれの成績が次表に示す条件を満たした者。</p> <p>(4)TOEICまたはTOEFLの得点が次表に示す点数以上である者。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">試験区分</th> <th colspan="4">日本留学試験</th> <th rowspan="3">TOEIC</th> <th colspan="2">TOEFL</th> </tr> <tr> <th>日本語</th> <th>総合科目</th> <th>理科</th> <th>数学</th> <th rowspan="2">PBT</th> <th rowspan="2">iBT</th> </tr> <tr> <th>「記述」は除く</th> <th>総合科目または理科のいずれか</th> <th colspan="2">「コース1」または「コース2」のいずれか</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>得点等</td> <td colspan="4">各科目の得点が平均点以上</td> <td>450点以上</td> <td>440点以上</td> <td>42点以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)理科は物理、化学、生物から2科目を選択してください。 (注2)総合科目、理科、数学の出題言語は日本語、英語のいずれも可とします。 (注3)TOEIC、TOEFLで利用できる成績は、入試期日から遡ること1年以内に受験した試験結果とします。</p>	試験区分	日本留学試験				TOEIC	TOEFL		日本語	総合科目	理科	数学	PBT	iBT	「記述」は除く	総合科目または理科のいずれか	「コース1」または「コース2」のいずれか		得点等	各科目の得点が平均点以上				450点以上	440点以上	42点以上
試験区分	日本留学試験				TOEIC	TOEFL																					
	日本語		総合科目	理科		数学		PBT	iBT																		
	「記述」は除く	総合科目または理科のいずれか	「コース1」または「コース2」のいずれか																								
得点等	各科目の得点が平均点以上				450点以上	440点以上	42点以上																				
入試方法等	<p>(1)日本留学試験の成績および本学において実施する学力検査等の成績ならびに出願書類により総合して行います。</p> <p>(2)配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="4">日本留学試験</th> <th>本学が実施する学力検査等</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>日本語 （「記述」は除く。）</th> <th>総合科目</th> <th>理科</th> <th>数学</th> <th>面接（日本語）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td></td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">800</td> <td style="text-align: center;">1600</td> </tr> </tbody> </table>	日本留学試験				本学が実施する学力検査等	合計	日本語 （「記述」は除く。）	総合科目	理科	数学	面接（日本語）	400	200		200	800	1600									
日本留学試験				本学が実施する学力検査等	合計																						
日本語 （「記述」は除く。）	総合科目	理科	数学	面接（日本語）																							
400	200		200	800		1600																					
出願期間	平成28(2016)年1月5日(火)～1月7日(休)																										
入試期日	平成28(2016)年2月19日(金)																										
合格発表日	平成28(2016)年3月6日(日)																										
その他	募集要項の請求および問い合わせについては、42～44ページを参照してください。																										

※観光学部は、これまでの観光経営学科及び地域再生学科を再編し、平成28年度より観光学科の1学科体制に改組予定です。なお、本件については、募集人員等も含め「設置申請中」であり、今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

VIII 障害を有する入学志願者の事前相談について

本学に入学を希望する者で、障害のある者は、受験上および修学上の特別な配慮を必要とする場合がありますので、出願前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、相談期日等詳細については学生募集要項に記載します。

1. 相談方法

志願者は、申請書（健康診断書（写でも可）等必要書類を添付）を提出し、本学において、志願者またはその立場を代弁し得る出身学校等関係者との面談を行います。

2. 相談および問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学入試課入試係

TEL 073-457-7116（直通）

IX 入試情報の開示

1. 入試情報の開示

本学では、平成28年度入学者選抜の次の入試情報を開示します。

○志願者数・受験者数・合格者数・追加合格者数・入学者数

○試験問題および正解・解答例

○合格最高・最低点および合格者の平均点（募集人員または合格者のいずれかが10名以下の入試は開示しません。）

○試験成績（受験者本人からの請求によります。）

○調査書（受験者本人からの請求によります。）

なお、開示方法、開示期間、請求方法等詳細については、おって、入試ごとの学生募集要項に掲載します。

ただし、入試によっては試験の適正な実施および個人情報保護等のため開示できない項目があります。

◎入試情報の開示についての問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学入試課入試係

TEL 073-457-7116（直通）

E-mail nyushika@center.wakayama-u.ac.jp

2. テレホンサービス（一般入試のみ）

本学では追加合格の実施状況について、下記のとおりテレホンサービスを行います。

○実施期間 平成28年3月28日(月)9時～3月31日(木)

○電話番号 073-457-7971（直通）

X 学生募集要項等の発表および請求方法

1. 学生募集要項等の発表時期

学生募集要項等の種別		発表時期	備考
入学者選抜要項(本冊子)		7月中旬	———
一般入試学生募集要項(全学部在中)		11月上旬	入学願書付
推薦入試(一般推薦枠)学生募集要項	教育学部	7月下旬	
推薦入試学生募集要項	システム工学部	7月下旬	
	観光学部	7月下旬	
推薦入試・スポーツ推薦入試学生募集要項	経済学部	9月下旬	
帰国子女・社会人特別入試学生募集要項	経済学部	7月下旬	
社会人特別入試学生募集要項	観光学部	7月下旬	
A O入試学生募集要項	観光学部	配布中	
私費外国人留学生特別入試学生募集要項		11月上旬	

2. 学生募集要項等の請求方法

(1)全国学校案内資料管理事務センターの「大学案内・募集要項受付システム」

①和歌山大学ウェブサイトから請求する場合

本学ウェブサイト (<http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>) からテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

②テレメールで請求する方法

ア 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。



テレメール

インターネット(PC・スマホ・携帯電話)の場合		自動音声応答電話の場合	
http://telemail.jp PC・スマホ・携帯電話 各社共通アドレス		IP電話	050-8601-0101
バーコード バーコードを読み取り、アクセスした場合は 資料請求番号の入力は不要です。			

※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

イ 資料請求番号(6桁)を入力またはプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金	発送開始予定日
大学案内	565842	300円	7月30日頃
入学者選抜要項(本冊子)	585842	215円	7月30日頃
入学者選抜要項(本冊子)+大学案内	565802	350円	7月30日頃
一般入試学生募集要項	585802	300円	11月15日頃
一般入試学生募集要項+大学案内	545902	350円	11月15日頃
推薦入試(一般推薦枠)学生募集要項	教育学部 585812	215円	7月30日頃
推薦入試学生募集要項	システム工学部 585832	180円	7月30日頃
	観光学部 545932	180円	7月30日頃
推薦入試・スポーツ推薦入試学生募集要項	経済学部 585822	215円	9月30日頃
帰国子女・社会人特別入試学生募集要項	経済学部 545912	215円	7月30日頃
社会人特別入試学生募集要項	観光学部 545942	180円	7月30日頃
A O入試学生募集要項	観光学部 587832	215円	配布中
私費外国人留学生特別入試学生募集要項	545922	180円	11月15日頃

※料金はお届けした資料に同封されている支払方法に従ってお支払いください。
(支払いに際して手数料が別途必要になります。)

ウ あとはガイダンスに従って登録してください。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から2～3日程で資料が届きます。

※発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算とします。）。なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

※①②での資料請求についての問合せ先

『テレメールカスタマーセンター』 IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

④「モバっちょ」で請求する方法

ア 携帯電話を利用する場合

下記のバーコードでアクセスしてください。

「モバっちょ」



資 料 名	発送開始予定日
大学案内	7月30日
入学者選抜要項+大学案内	7月30日
一般入試募集要項	11月予定
一般入試募集要項+大学案内	11月予定

※料金は送料・手数料込みです。

大学案内：250円 入学者選抜要項+大学案内：300円

一般入試募集要項：250円 大学案内+一般入試募集要項：300円

※携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によってご利用できない場合がございます。

イ パソコンの場合（クレジットカード決済のみとなりますが同じ料金で請求できます）



【URL】 <http://djc-mb.jp/wakayama-u3/>

※④での請求についてのお問合せ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL.050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

(2)郵送による請求方法

請求用封筒の表面に「〇〇学部〇〇入試学生募集要項請求」（〇〇には、希望する学部名および一般入試・推薦入試等の入試の名称を記入してください。）と朱書きし、該当分の郵便切手（下表参照）を貼った返信用封筒〔角型2号（33cm×24cm）；表面に受信者の郵便番号・住所・氏名および朱書きで「ゆうメール」と明記してください。〕を同封して下記の請求先まで送付してください。

なお本学より連絡等を行う場合がありますので、必ず郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記したメモも併せて同封してください。

○請求先 〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学入試課

○返信用切手（返信用封筒に貼付）

学生募集要項等の種別		ゆうメール便の場合
入学者選抜要項(本冊子)		215円
大学案内		300円
入学者選抜要項(本冊子)+大学案内		350円
一般入試学生募集要項		300円
一般入試学生募集要項+大学案内		350円
推薦入試(一般推薦枠)学生募集要項	教育学部	215円
推薦入試学生募集要項	システム工学部	180円
	観光学部	180円
推薦入試・スポーツ推薦入試学生募集要項	経済学部	215円
帰国子女・社会人特別入試学生募集要項	経済学部	215円
社会人特別入試学生募集要項	観光学部	180円
AO入試学生募集要項	観光学部	215円
私費外国人留学生特別入試学生募集要項		180円

※外国に居住する場合は、募集要項の種別毎に返信用切手の代わりに航空便書状で上表の重量料金相当の国際返信切手券を同封してください。

(3) 本学へ直接来学し、受け取る方法

配布場所	配布時間
和歌山大学入試課(事務局棟3階)	平日の午前9:00~17:00
事務局棟玄関ホール(和歌山大学バス停前)	平日の上記配布時間帯以外および土日祝日も配布しています。

(4) その他

「学生募集要項」のEメールによる請求はできません。

3. 入試に関する問い合わせ先

入試課または各学部の入試担当係へお問い合わせください。

○和歌山大学入試課

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 TEL 073-457-7116

E-mail nyushika@center.wakayama-u.ac.jp

○各学部の入試担当係

学 部	入試担当係	電話(直通)
教 育 学 部	教 務 係	073-457-7219
経 済 学 部	教 務 係	073-457-7805
システム工学部	教 務 係	073-457-8021
観 光 学 部	教 務 係	073-457-8542

XI オープンキャンパスの案内

1. 開催日 平成27年7月19日(日)

2. 会場及びプログラム

会場：和歌山大学

※プログラムおよび詳細については、決定次第、和歌山大学ウェブサイトにて公表します。

(<http://www.wakayama-u.ac.jp/>)

3. オープンキャンパスについての問い合わせ先

事前申し込みは不要です。

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学入試課

TEL：073-457-7116(直通)

FAX：073-457-7101

E-mail：nyushika@center.wakayama-u.ac.jp

XII 学部の紹介

◎ 教育学部

教育学部は、その前身を明治期に発足した師範学校におく、本学でもっとも古い歴史をもった学部です。昭和24年（1949）新制和歌山大学では学芸学部、その後、教育学部と学部名称は変わりますが、その間一貫して教員養成を通じて地域社会に大きな貢献をしてきました。

平成元年（1989）に教員養成以外にも視野を広げた、教員免許状取得を目的としない新課程を設置し、組織や名称を変更しながら今日まで継承してきましたが、平成27年（2015）入学者をもって終了し、学校教育教員養成課程に一本化しました。これは、少子化や学力低下、いじめや不登校など、深刻化し、複雑化していく諸問題に対応するため、教員養成に学部の力を集約させることを狙った改革です。これまで新課程が担った、学校の外への視点や幅広い教養を教員養成課程に取り込みつつ、これらの問題解決にあたることを考えています。

この課程には初等教育コース、中等教育コース、特別支援教育コースの3つのコースをおきます。このようにキャリアパスを明確にすることで、自分のめざすべき進路にまっすぐに向かうことができるようにしました。もっとも、それぞれのコースは相互に関連しているので、それらをつなぐ視点も大切にしています。具体的には幼・小連携、小・中連携を視野に入れ、さらに特別支援教育とつなぐなど、複数免許の取得も可能です。

本学部が力を入れていることの一つに、実践力の向上があります。これは単に「即戦力の養成」というのとは少し違います。実際、多様な学校現場ですぐに役に立つ人材になるのは至難です。大切なことは、困難な教育現場にあって、日々悩みながら同僚たちと協働して子どもの支援に向かう覚悟と姿勢を準備することです。

そのためには、自主的で多様な教育経験が必要になります。教育実習はその最大のものですが、それ以外にへき地複式実習のようなオプションの実習、経験豊かな現場教員の授業、さらには教育ボランティアや教育系のサークルなど課外の活動も多く用意されています。これらを通じて、悩みながら成長し続ける教員になっていけるよう支援しています。

初等教育コース

このコースは児童の発達や教科のつながりなどを総合的に捉え、小中連携の視野を持った小学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、教育に関するさまざまな科学・研究分野を学びます。さらに、学校教育の基本的課題のみならず今日の学校内外で多発する複雑で深刻な教育問題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

このコースでは初等（小学校）の専門性を高めるために「初等エキスパート科目」を設定し、教職分野の力や小学校教科の指導法および教科内容の力をつけます。また小中連携を意識した「小中連携科目」の履修により校種間のつながりを意識した学びができます。このコースでは卒業要件として、〔小学校教員免許1種〕の取得が課せられます。本人の希望により幼稚園教員免許や中学校教員免許、高等学校教員免許、特別支援学校教員免許の取得が可能です。卒業後の進路としては、小学校を中心として、幼・中・高・特別支援学校の教員のほかに、心理職、児童施設指導員、障害者施設指導員、公務員、大学院進学などがあります。

中等教育コース

教科（分野）の専門性を深めつつ、中学校・高等学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、学校における各教科に関する幅広く深い知識と専門的技量を修得します。さらに、文化の継承・発展という教育の基本的課題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

このコースでは教科の専門性を高めるために「中等エキスパート科目」を設定し、教職分野の力や中学校・高等学校教科の指導法および教科内容の力をつけます。このコースでは卒業要件として、〔中学校教員免許1種〕の取得が課せられます。本人の希望により小学校教員免許、高等学校教員免許、特別支援学校教員免許の取得が可能です。卒業後の進路としては、中学校・高等学校を中心として、小・特別支援学校の教員のほかに、諸種の教育関係職、公務員、大学院進学などがあります。

特別支援教育コース

このコースでは、特別支援教育に関する専門的な知識と技能を修得します。通常の教師としての資質を高めながら、学習や発達に困難のある児童生徒や、心身に障害を有する児童生徒など、教育上特別なニーズを有する子どもの指導、支援に関する高度な専門性を身につけることが目標です。

授業では、特別支援教育に関する教育学、心理学、指導法、医療、福祉について、系統的な知識や技術を学ぶとともに、教育の時代的な変化の背景にある思潮や、教育の原理、歴史についても学習し、表面的スキルの修得に終わらない深い学びをめざします。さらに子どもと接する機会を多く設け、体験を通して学ぶことができる授業を展開しています。

このコースの卒業要件として、〔小学校教員免許1種〕または〔中学校教員免許1種〕の取得に加えて、〔特別支援学校教員免許1種〕を取得することになります。

卒業後の進路は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員のほかに、福祉施設職員、公務員、一般企業、大学院進学などがあります。

◎ 経済学部

本学部は、1922年（大正11年）に創立された旧制和歌山高等商業学校以来の伝統を受け継ぎ、100年近くにわたって社会に多くの優れた人材を送り出してきました。この間、時代と社会の要請にこたえながら、経済社会の理解に不可欠な学問分野である経済学、経営学、会計学、情報学、法学の教員を揃え、論理的思考力、専門知識、実務能力、幅広い教養を有する人材の養成に努めてきました。卒業後の進路は、金融・製造・流通・情報・公務など多様な業種にわたり、昨今の厳しい就職状況下でも就職率は高い水準を保っています。また、本学大学院経済学研究科修士課程に進学する学生もいます。優秀な成績を修めた学生は、3年次修了時点で大学院に進学できる制度が設けられています。

近年の多様化・複雑化する社会においては、複数の学問分野にまたがる専門知識を活用し、一人ひとりが他の人と協力しながら問題を発見・解決する能力が求められています。そのような能力・資質を身につけるために、本学部のカリキュラムは、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域での体系的な学修に加え、これらのうちのいくつかの学問領域の学修を組み合わせています。その上で、卒業後の進路において必要となる専門知識や実務能力などを考慮して横断的な学問

領域における授業科目を体系化しています。学生は初年時から将来の自分の姿を思い描きながら主体的・計画的に学修を進めます。このカリキュラムでは、学修目標とそれによって目指せる可能性のある代表的な進路を想定し、次の「プログラム」を設けています。※

「グローバル・ビジネス&エコノミー」

グローバルな視点から経済領域・経営領域で種々の課題に対応できる能力を身に付け、グローバル企業、国際機関、NPO・NGOなどにおいて中心的な役割を担える人材となることを目指します。

「企業分析・評価」

企業の資金調達・運用から事業譲渡など、銀行の融資審査や証券会社の引受、会計事務所のコンサルティング業務、一般企業のファイナンス関連業務などで企業価値の分析および評価を行うことができる人材となることを目指します。

「ビジネスデザイン」

新たな視点から事業、企業の再活性化に取り組める能力を身に付け、企業の企画部門などにおいて、高い企画力を持って組織変革や業務改善を担える人材や、起業家などを目指します。

「企業会計・税法」

会計学及び税法の視点からの実務能力を身に付け、企業の経理・財務部門において、会計・法制度の知識をもとに組織活性化の支援に取り組む人材や、税理士、公認会計士、不動産鑑定士、国家・地方公務員などを目指します。

「地域公共政策・公益事業」

地域社会における課題解決能力を身に付け、地域の活性化を支援する国家・地方公務員や、公益性の高い事業主体の職員などを目指します。

「サステイナブル・エコノミー」

経済における持続可能性を実現できる多様性・柔軟性を有する能力を身に付け、企業のCSR関連部門、社会的企業、環境NGO・NPOなどにおいて、多様な利害関係者と各組織の橋渡しとなれる人材となることを目指します。

※「プログラム」は、平成28年度に予定されている改組〔設置申請中〕により導入されます。今後、内容等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

◎ システム工学部

システム工学部システム工学科の特徴

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。また、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部では平成27年、これまでの5学科（情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科）を1学科（システム工学科）へと改組をおこないました。システム工学科には、10教育研究領域（メジャー）を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

・メジャー：機械電子制御

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることのできる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

・メジャー：電子計測

電子計測メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した計測システムについて学びます。

・メジャー：応用物理学

応用物理学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

・メジャー：化学

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

・メジャー：知能情報学

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

• **メジャー：ネットワーク情報学**

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

• **メジャー：環境科学**

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

• **メジャー：環境デザイン**

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

• **メジャー：メディアデザイン**

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

• **メジャー：社会情報学**

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電子計測	機械・電機、自動車、精密機械
ナノテクノロジー	応用物理学 化学	半導体・電子部品、精密機器、 化学・医薬品・化粧品、素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信、ITサービス、電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信、ITサービス、出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員（土木、建築、造園）、建築・住宅、 環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員、環境測量士

コース名	メジャー名	期待される就職先
電気電子工学	応用物理学 電子計測	電気電子メーカー、精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、 情報通信産業、ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報学 社会情報学	情報通信、サービス産業、 ゲーム・アミューズメント

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けます。これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科に進学し高校の理科の教員免許の取得を目指すコースです。

◎ 観光学部

21世紀は「観光の時代」。世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されるのが観光です。日本においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造および観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。和歌山大学観光学部は、観光教育研究における日本の、そしてアジアの拠点として、これらの人材養成に力をおこすべくさらに進化します。

観光学部の特色

- ①観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムを用意しています。
- ②最先端の観光理論を学ぶことはもちろん、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラムや海外の連携大学等と共同で取り組むエリアスタディ等の機会を通じて、社会の各方面から即戦力として期待される実践力が身につきます。
- ③ハイレベルな観光人材に相応しい教養の醸成を重視し「観光プロデュース論」「日本文化演習」などユニークな実践科目を配置するほか、グローバル・プログラムの導入を通じて国際化時代における言語面でのバリアフリー化を進めます。